

「人口減少が進むさぬき市に暮らす」

まち・ひと・しごと 創生総合戦略

昨年9月号から、計4回、特集記事を掲載してきましたが、最終回となる今回は、人口減少に歯止めをかけ、活力ある持続可能な地域社会を目指していくために市が本年3月に策定した「第3期さぬき市・まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第3期さぬき市総合戦略」）についてお知らせします。

地域ビジョン

（本市が目指すべき理想像）

守る つなぐ 進化する
～ひとつ上の質の良さを求めて～

地域ビジョンは、現在進行中の第2次さぬき市総合計画の基本理念を踏襲しています。

『**守る**』は、自然災害、犯罪、あらゆる困窮などから市民の命と暮らしを守り、生涯にわたって心身ともに健康で暮らせるまちづくりを進めていくこと、

『**つなぐ**』は、家庭や地域などあらゆる場所で互いを認め、思いやり、助け合うことや、過去から受け継がれてきた自然や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、さぬき市民としての誇りを育んでいくこと、

『**進化する**』は、現状と課題を冷静に見極め、勇気と覚悟をもって時代のニーズに沿った改革に取り組み、地域資源を見直し、新たな魅力を創造していくことへの決意を表しています。

そのうえで、今以上に暮らしやすい質の高いまちづくりを目指して、4つの基本目標を定めて具体的な取り組みを推進していきます。



基本目標と施策

第3期さぬき市総合戦略では、次の4つの基本目標に沿って、さまざまな施策に取り組んでいきますが、全ての基本目標に共通する方向性として、本市の出生数の改善を担う女性20歳代から40歳代までの層と、関わる男性同年代が、さぬき市に「住みたい」、「住み続け

たい」と思えるよう、良質な働く場の確保といじめや不登校がない教育環境の整備等を積極的に進め、結婚しやすいまち、子育てしやすいまちの実現といった視点を特に重要視していくこととしています。

基本目標 ①

さぬき市に仕事をつくる

	基本施策	具体的な取組（抜粋）
1-1	産業振興、新しい働き方による雇用の場の拡大	地域企業の競争力強化への支援
1-2	農林水産業振興への新たな挑戦	遊休農地活用の促進
1-3	後継者不足の解消	若者や女性等向けの就職支援活動の強化



魅力ある働く場を増やして仕事をつくっていくため、地域企業の競争力強化や創業の支援、農産物の産地化に向けた支援、若者や女性等のための就職支援活動の強化などに取り組めます。